

道徳の時間学習指導案

指導者

- 1 学 年 第5学年 13名
- 2 主題名 「約束や規則の尊重」 内容項目4-(1)
- 3 ねらい 監督の話をしている時の星野君の気持ちを考えるを通して、きまりや規則を守ることによって安心して生活できみんなで楽しく暮らしていけることに気づき、自分たちで決めたままりは進んで守ろうとする態度を育てる。
- 4 資料名 「星野君の二るい打」 出典(希望を持って:東京書籍) 一部改正

5 主題設定の理由

(1) 主題の設定

規則を守ることは当たり前のことであるが大人も子どもも規則が守れなくなっている。いけないとわかっていながら路上駐車をしたり、ゴミのポイ捨てをしたり、心ない行動をとってしまったりする大人がいる現状がある。子どもたちも同様である。だが、みんなで社会生活を送っていく上で規則を守ることは、とても大切である。そこで、自分の利害にとらわれるのではなく、正しい判断をして、きまりを守ろうとする心を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

(3) 資料の概要

本資料は、野球大会での話である。同点で迎えた最終回、ランナー一塁で、監督にバントを命じられた星野だったが、指示に反してヒッティングをし、二塁打を放つ。そのおかげでチームは勝利し星野はその試合の英雄となる。しかし、翌日、監督から「チームの規則を乱したものをそのままにしておくわけにはいかない。」と言いつたれる。とかく勝てばよいと安易に考えてしまいがちな子どもたちにとって、集団生活・集団行動において規則やきまりはなぜあるのか、なぜ必要なのかを深く考えさせることができる資料である。

(4) 指導の工夫

導入では、図や写真を用意したり、劇化を取り入れたりして状況をしっかりつかませるようにする。

とらえる場面では、授業に全員が積極的に参加できるように、星野君の取った行動に賛成か反対かを、ネームプレートを用いて意思表示させ、監督の言葉を認めた上で取った星野君の行動や気持ちに共感させていきたい。

中心場面では、特に後半の監督の言葉を深く考えさせることにより、自分たちで決めたままりを守ることの大切さを理解させたい。そのために、場面絵や短冊などを用意して場面がとらえやすいように工夫する。また、まず書く活動を取り入れ、自分の考えをしっかりと持たせていく。次にペアトークで友だちの意見を聞き合い、クラストークへとつなげていくことで、考え合う授業をめざしたい。

見つめる場面では、規則を守ってよかったと思う経験を出し合うことにより、きまりを守ることは日常生活を円滑にするだけでなく、自分もみんなも楽しく生活できることをとらえさせていきたい。

(5) 学習プログラムとの関連

事前の活動では、公共施設の使い方やマナーを守り、きまりを守って行動しようとする心情を高める。事後の活動では、自分たちで決めたままりは進んで守り、責任を持って活動しようとする態度へとつなげていきたい。

7 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点 (○支援 ☆児童への評価の観点 ★指導者への評価の観点)
導入	○バントについて知る。	○バントはどんなときにしますか。 ・ランナーを進めるとき。 ・監督のサインでする。 ・確実に一点取りたい時にする。	○野球を話題にし、資料への動機づけを行う。 ★資料への関心を高める支援ができたか。
展開	○場面①を聞き、監督からバントを命じられた時の星野君の気持ちを考える ○二るい打を打ち、チームを勝利へ導いた星野君の気持ちを考える	○監督に呼ばれて、バントを命じられた時、星野君はどんなことを考えたでしょうか。 ・どうしても打ちたい。 ・この回でめいよを回復したい。 ・絶対打てそうな気がするから、打ちたい。 ・監督の命令だけと、納得できない。 ・監督の命令だから逆らうわけにはいかない。 ・がまんしてバントをしよう。 ・どうしよう。 ○二るい打を打ち、県内野球大会に出場することになった星野君は、どんな気持ちだったでしょう。 ・やったぞ！ ・やっぱり、思い切って打ってよかった。 ・これで名誉の回復ができた。 ・勝ててうれしい。今度の試合でも頑張るぞ。 ・監督の命令には背いたけど、勝ったんだから監督も喜んでくれるだろう。 ・ちょっとまずいかな・・・。 ○星野君の取った行動に賛成ですか。反対ですか。 〔賛成〕 ・勝ったのだからいい。 ・確実に打てると判断したのだからいい。 〔反対〕 ・監督の作戦にそむいたのはいけない。 ・自分勝手な行動だと思う。	○劇化をしながら場面状況をしっかりつかませる。 ○監督の命令に従うべきか、無視すべきかに悩む星野君の心の中をとらえるようにする。 ○自分の活躍で県の大会に出場できるようになった星野君の気持ちを十分につかむようにする。 ○ネームプレートを活用して、自分の立場をはっきりさせて話し合わせる。 ○なぜそう考えたのか理由を述べるようにさせる。
深める	○場面③を聞き、監督の話を聞いているときの星野君の気持ちを考える。	○監督の話を聞いて、星野君はどんなことを考えただろう。 ・みんなで決めたことだからこそ守ることが大切なんだ。 ・これからは、チームワークを大切にしよう。 ・集団には、規則が大切だ。 ・決まりを破ったのだから、自分は間違っていた。やはりあのときバントをすればよかった。 ・監督の言うことを聞くべきだった。 補) チームの約束を守ることはどうして大切なのだろう。	○ワークシートに書き、自分の考えを持ってから発表させる。 ☆星野君の気持ちを考えることを通して規則を守ることの大切さについて考えを深めている。 ★考えを深めるための支援ができたか。

見つめる	○自分の生活を振り返って考える。	○きまりを守ってよかったと思うことがありますか。	○規則は、みんなのためにあることがわかるエピソードを紹介しながら、実践への意欲を持たせる。 ☆自分自身を振り返ることができたか。
終末 あたためる	○心のノートを読み、価値を深める。	○心のノートP82・83を読む。	

7 板書計画

監督の指示に反して2るい打を打った場面絵

監督からバントを命じられた場面絵

星野君の二るい打

監督

星野君

星野、岩田をバントで二るいへ送ってくれ。どうしても確実に一店稼がなければならぬ。

	1	2	3	4	5	6	7
S							
R							

反対

- ・勝ったんだからいい。
- ・かくじつに打てるかと判断したのだからいい。
- ・監督の命令には従わなければいけない。
- ・規則なのだから守らないといけない。

賛成

- ・やったぞ！
- ・勝って嬉しい。
- ・めいよの回復ができた。・まずいかな・・・

勝利を決定的にした二るい打

監督の話をしている場面絵

自分が悪かった。
バントをすればよかった

みんなですべて決めたことは守っていい。

・きまりは大切だな。
・チームワークが大事なんぞ。

みんなですべて決めたきまり

ただ勝てばいいんじゃない。